

SAJ

サバァイ通信

公益財団法人 School Aid Japan コミュニケーション誌
サバァイは「幸福」を意味するクメール語です

Vol.20

2020.4 月号

毎年・年に一度の開催 ワタミグループ カンボジア視察ツアー



ワタミグループのツアー参加者の皆さま。SAJ ファームにて

年に一度開催されるワタミグループ社員様向け「SAJ カンボジア視察ツアー」が、今年も 2 月 20 日～23 日の期間で行われました。コロナウィルスの影響によりツアーを行えるか不安でしたが、無事に開催することができました。「和民」イオンモール・SAJ ファーム・孤児院・ARS を視察し、市内やアンコールワットを観光しました。

孤児院では日本のお祭を企画し、海苔巻きを作ったり、輪投げやミニオンすくいなど縁日を楽しみました。また、皆様からご寄附頂いたリュックサックとお皿を子どもたちに届けました。日本から来るお客様をととても楽しみにしている孤児院の子どもたちは、プレゼントも凄く喜んでいました。

とても有意義なツアーになったと感じています。



日本式の縁日も子どもたちに好評でした！

皆様からの会費・寄附は「1円残らず現地に届ける」ことを基本方針として活動しています。

会費

会員会費(年額) 1口 12,000円
法人会費(年額) 1口 120,000円

一般寄附

用途は指定しないで
金額も自由な寄附

指定寄附 (使い道を指定する寄附)

- 学校建設寄附(1) 一口寄附(一口 100,000円)、(2) 一棟寄附
- ふれあいサポートプラン(一口 12,000円から)
- 食の支援寄附(金額自由)
- 孤児院運営寄附(金額自由)
- 孤児院運営会費(12,000円/月)
- 孤児院里親会費(12,000円/月)
- 奨学金寄附(金額自由)
- 学校運営寄附(バングラデシュ)(金額自由)

詳細はSAJ事務局までお問い合わせください。

支援活動のご報告 (指定寄附別) 支援者様から頂いた寄附が、どのような活動に繋がっているのかご紹介いたします！

孤児院運営支援

2月8日 大幸インターナショナル様来園

ドゥウン(小5)の里親、瀬戸口様、スレイナン(中3)の里親、戸澤様が来園されました。お客様はもちろんですが、里親様が来てくれることが何より嬉しいことです。玩具をたくさん持ってきていただき、子どもたちと沢山遊びました。短い時間でしたが、楽しい時間を過ごすことができました。



スレイナン(中3)と里親の戸澤様

2月8日9日 レアスマイル OB 様来園

レアスマイル OB 様が大学卒業前にもう一度子どもたちに会いたいということで、お越しになりました。洋服のたたみ方を教えていただいたり、子どもたちの部屋と一緒に片付けていただきました。遊んだりお話ししたりと子どもたちは常に楽しそうでした。OBの皆様は卒業後も再訪したいと仰っていました。



学校運営支援【NDMSC】

現地幹部教員と理事長ミーティング

現地の幹部教員と理事長で学校運営についてミーティングをする場を設けました。

各幹部教員からは、彼らが思っていることや質問を理事長に直接ぶつけ、その回答を頂くととても良い機会となりました。理事長の回答を踏まえ、今後どのように学校運営していくか現地幹部で話し合います。

その後はバングラデシュで1番美味しいと噂のカレー屋さんにて懇親会。現地教員にとってはとても有意義な時間になりました。(校長 古澤)



日本語学校視察



インターネットでの寄附が、便利になりました。

SAJのホームページから寄附していただくことができます。寄附の種類も選べます。

<https://ssl.schoolaidjapan.or.jp/kifu/>

こちらから



会費・寄附金のお振込み

●郵便局：00140-5-345903

●三井住友銀行：蒲田支店(普) 4353626 口座名：公益財団法人 School Aid Japan

※郵便局払込用紙をご希望の方はSAJ事務局までご連絡ください。

※領収書をお送りいたしますので、初めてお振込みされる際は送付先のご住所をEメールまたは電話にてご連絡ください。

寄附金の優遇税制

SAJは内閣総理大臣の認定を受けた公益財団法人です。そのため、会費や寄附金は、税制上の優遇処置を受けることができます。詳しくはお問い合わせください。

理事評議員会の報告

SAJは、すべての理事で構成され業務に関する決定を行う理事会と最高議決機関である評議員会が毎月開催されています。

《構成メンバー》

■代表理事：渡邊美樹

■理事：鳥井親一、清水和雄、
武長彩子、高橋亮

■業務執行理事：青木茂雄

■評議員：大江光正、清水邦晃、佐藤誠、
戸澤昌夫、大城慶正、白柳直美

■監事：片山進平、小田剛志

第202回理事評議委員会が2月25日に行われました。

【報告事項】

□孤児院報告 近況報告 □プノンペン事務所報告 □バングラデシュ 近況報告 □SAJ Farm および 石鹸事業報告
□1月度会費寄附募金状況、1月予算実績報告 以上につき、青木業務執行理事より説明がなされこれを了承した。

【決議事項】

第1号議案

孤児院に関する各種ルールの検討と承認

孤児院にはクメール語を話せるスタッフがいないため、週2日プノンペン事務所カット所長が通訳と各種ルールの導入指導を手伝う。2021年12月に孤児院の子どもたちがN5取得を目標に日本語の勉強を開始した。入園・在園・進学・奨学金貸与基準を見直し新たに作成した。また孤児院で3人の孤児を受け入れる。これらのことに全員異議なく承認した。

第2号議案

2019年度下期学校建設に関する検討と承認

学校建設、年間20校を目標としていたが今年度は7校しか竣工しておらず、3月までに13校建てるのが承認された。次回までに詳細をご報告。全員意義なく承認した。

第3号議案

2020年度の事業計画・予算に関する大方針の検討と承認

・昨年度に引き続きカンボジアに20校建設。
・孤児院の在園人数は現在58名だが定員80名まで増員する。
・DVD事業を再開し、国語・数学以外の教科を完成させる。
・石鹸事業は2021年度に黒字化を目指す。
上記のことについて全員異議なく承認した。



SAJ Farm

SAJ ファームは、孤児院の子どもや、将来的には農業を志すカンボジアの若者に技術を習得させるための実習場（農場）として、2010年にスタートさせた就労支援事業です。

長い乾季との闘い！レモングラス畑を守れ！

カンボジアは12月～4月ごろまで長い乾季となります。昨年も110日以上降雨がありませんでしたが、今年も12月から現在まで、100日以上ほとんど雨が降っていません。土は乾燥しきり、毎日砂埃が舞い、道路は前さえ見えない日もあるほどです。SAJファームでは、溜池の水をレモングラスの圃場に散水し、圃場が乾くのを防いでいます。今年は、水ポンプ三台をフル稼働

させ、灌水ホースも新調。スタッフ一同知恵を捻り出し、どうしたら水を効率よく撒けるかと話し合いました。皆が自発的に動き、灌水設備も昨年より大幅に改善され、効率よく灌水できています。あともう少しで辛い乾季も終わるはずです。しっかりとレモングラスを守り抜き、今年も良いレモングラスが収穫できるようスタッフ一丸頑張っていきます。（農場長 酒井）



デザインコンテストで孤児院の3人が受賞！



「デザインを通じて女性の地位の向上に貢献すること」をミッションとしているドリームガールズプロジェクトが毎年開催しているデザインコンテスト。このコンテストで表彰をされるとAMAZING CAMBODIAというショップの製品パッケージに活用されます。2月15日に、コンテストの表彰式がプノンペンで開催され、カンボジアの孤児院から19の作品出展し、選ばれた10人の子どもたちが招待されました。その中から、3人の子どもたちが賞をいただくことが出来ました。みんな感性が素晴らしいと褒めていただきました。来年も是非参加させていただきたいと思います。



fromプノンペン事務所

孤児院とSAJ Farmのお手伝い

週に2日、孤児院の職員ミーティングや子どもへの指導の手伝いと通訳を始めました。

また2週間に1度、SAJファームへ行き、スタッフカウンセリングの手伝いと通訳もしました。そしてSAJファームの看板について郡長さんと話をしに行きました。



代表理事メッセージ

オークンチュラーン

代表理事 渡邊美樹

カンボジアでも、新型コロナウイルスの影響が大きく出始めました。カンボジア全土の小・中・高校は、3月18日よりクメール正月があける4月中旬まで一斉休校となりました。

私たちの孤児院では急きょ、一日中孤児院で過ごす子どもたちのために新たな時間割を作成しました。学校の補習や予習をする時間、日本語を学ぶ時間、園内の掃除や洗濯をする時間、農作業をする時間、自由時間、職員とのカウンセリングの時間。毎月行われる教科別テストの点数が良くない子どもにとっては、遅れを取り戻すよいチャンスです。自らの夢をゆっくり考える

チャンスでもあります。孤児院の職員にとっては、子どもたち一人ひとりとしっかり寄り添い、生活習慣の確立、学力の向上、人間性の向上を図るよい機会です。

私たちは2018年にプノンペン教育省内にスタジオを設置し、DVD事業を推進してきました。都市部と地方の教育格差を是正するため、優秀な教師の授業をスタジオで録画し、DVDとして地方の高校に配布しています。そんな最中、カンボジア教育省より私たちのスタジオの使用要請がありました。学校に行けない子どもたち向けの授業をスタジオで録画し、配信するプロジェクトが急きょ、動き出したのです。

SAJは、そのプロジェクトを全面的に支援していくつもりです。こんな危機だからこそ、できることがたくさんあります。



支援者様メッセージ

カリカチュア・ジャパン株式会社 代表取締役 代表アーティスト Kage 様

2006年、ワタミ株主総会のオープニング映像、「夢のチカラ」を観てSAJの存在を知りました。魂が震えるほどの感動といってもたってもいられない思いに駆られて、両国国技館内を走り回って、当時の事務局長、住田先生を探しました。私のような者にも出来ることはあるのか？支援を申し出たものの、当時の私は創業したばかりで、自信もなければ、お恥ずかしい話、お金も全く余裕がありませんでした。2007年に視察ツアーに参加しました。現地の様子を見て、理事長の熱い想いに触れて、支援者の方々の温かい志に包まれて、こんな私にも出来ることを探しました。私は絵描きなので孤児院に行くと、子供た

ちの似顔絵を即興で描きました。「何も出来ない」から行った行為が、子供たちの無邪気で素直な笑顔を見て、「何か出来るかもしれない」と思うようになりました。画材メーカーに掛け合って、色鉛筆700本協賛して頂き、皆に絵の描き方を教えて、それぞれの夢を描いてもらいました。これをワタミ株主総会で展示し、株主様に子供たちのことを知って頂き、支援を募りました。理事長と世界共通の教科書、「無人島ウィー」を作らせて頂いたこともありました。当社はSAJ支援を通じて多くの学びと力を頂き、今日、絵のお店と教室を全国に構えることが出来ました。ここに今、あの子供たちが立派になって、毎年来てくれています。



私は子供たちが起こしてきたいくつもの奇跡を、目の前にし、「夢のチカラ」を改めて実感しています。「何が出来るか」を悩むのではなく、「出来ることから始めてみよう」と、これから多くの方々に伝えていきたいと思います。これからも支援を続けながら「夢のチカラ」を信じて、私たちも成長していけたらと考えています。

ご支援いただいた寄附

2020年

3月の寄附金合計 16,522,713円

(内訳) 会員会費	1,707,217円
一般寄附	716,789円
指定寄附	14,098,707円

募金箱回収ありがとうございました

募金箱回収してくださった方（順不同、敬称略） ※法人名、団体名は2019年4月現在のものです。

- SFPホールディングス株式会社 「餃子製造販売店」上野 いち五郎 店
- ワタミ株式会社
「ミライザカ」日暮里駅前店、池袋西口マルシェ通り店、八丁堀店、神楽坂店、
「和民」JR蒲田東口店、「坐・和民」紙屋町店、「TGI FRIDAYS」原宿店、「にくスタ」南蒲田店
「ゴハン」船橋駅前南口店、「わたみん家」豊田北口駅前店

募金箱の回収は、郵便局や銀行での振込みまたは、SAJ事務局へのご持参にて承ります。

今後の予定

- 5月18日
ワタミグループ創業祭
(ブース出展)
- 5月25日
理事評議員会

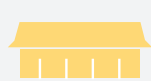
これまでの実績

いただいた寄附金の累計額
(2001年度～2018年度)



28億
9,196万2,003円

建設した学校の合計
(2001年度～2018年度)



288校

現在、SAJの建設した
学校で授業を
受けている児童・生徒の人数
(2019年3月現在)



93,226人

ふれあいサポートプランで
文房具や制服を受け取った
児童数の累計
(2003年度～2018年度)



13,427人

SAJの建設した学校で
お米を受け取った
児童数の累計
(2006年度～2018年度)



9,515人

SAJの建設した学校で
朝給食を支給された
児童数の累計
(2006年度～2018年度)



108,385人

編集後記

毎年開催されている「SAJカンボジア視察ツアー」を今年も無事に終えることができ嬉しく思います。何度も参加していただいている方はカンボジアの発展を見ることも楽しみの一つだと仰っていました。様々な視点からツアーを楽しんでいただけたことがわかりました。

公益財団法人 School Aid Japan
本部 〒144-0043 東京都大田区羽田1-1-3
TEL: 03-5737-2773
FAX: 03-5737-2793
Eメール: sajinfo@schoolaidjapan.or.jp
http://www.schoolaidjapan.or.jp